

2020年度夏季高等学校軟式野球長野県大会 要項

- 1 主 催 長野県高等学校野球連盟
- 2 主 管 長野県高等学校野球連盟軟式部会
- 3 後 援 日本高等学校野球連盟、長野県教育委員会、大町市、大町市教育委員会
- 4 日 程 7月18日(土)、19日(日)、24日(金)、25日(土)
予備日 20日(月)、26日(日)
- 5 会 場 大町市運動公園野球場
- 6 選手資格 2020年度大会参加者資格規定による。
- 7 試合規定 「2020年度公認野球規則」「高校野球特別規則」「長野県高等学校野球連盟内規」による。
 - ・ ベンチ内は責任教師、監督、記録員各1名と登録選手20名の計23名とする。
ただし、試合毎のベンチ入り選手の入替えを可能とする。
 - ・ 点差によるコールドゲームは5回以降10点差、7回以降7点差がついたとき適用する。
 - ・ 降雨・雷鳴・日没等の天候状態によるコールドゲームは7回成立以降に適用する。
 - ・ 決勝戦においてはコールドゲームを適用しない。天候状態で9回まで完了していない場合は日を改めて再試合を行う。サスペンデッドゲーム(一時停止試合)は行わない。
 - ・ 延長試合における、高校野球特別規則22のタイブレーク制度は選手の健康管理上、今大会では10回より採用する。(決勝戦については、12回より採用する。)
 - ・ 1週間500球の投球数制限は実施する。
 - ・ シートノックの練習補助員(生徒に限る)参加を5名まで認める。補助員は、必ずヘルメットを着用し、ノッカーへのボール手渡し、送球受球(ダイヤモンド内は1塁ベースのみ可)、ブルペン捕手等とし、ノックは絶対に受けないこと。また、女子部員の補助員を、ノッカーへのボール手渡しに限り、最大2名まで認める。ただし、責任教師の指導の下、高校野球にふさわしい運動着、運動靴で参加すること。
 - ・ 選手、審判員の健康管理を考慮し、今大会においては3回、5回、7回終了時に休憩時間を設ける。
- 8 組み合わせ 別紙参照
抽 選 会 6月23日(火) 第2回連絡会において行う。
- 9 使用球 全日本軟野球連盟公認のM号球を使用する。
- 10 入 場 無観客試合とする。ただし、加盟校部員と事前に届け出のあった加盟校保護者は除く。
(各校当該試合最大50名まで)
- 11 役 員 一般財団法人長野県高等学校野球連盟 軟式部会役員、同審判員、同公式記録員。
ただし試合実施に際して審判員は4人制に限らない。

12 参加費 ベンチ入り×1,000円の大会参加費を支払うものとする（記録員を含む）
初戦の当日に事務局に支払う。

13 式典 開会式および閉会式は行わない。

14 表彰 優勝校、準優勝校には表彰状を授与する。

15 連絡・注意

1) コロナウイルス感染症対策について

- ・試合日のチームの責任教師・監督・部員（球場入りする者）は、朝検温を行うこと。その結果を「検温確認表」に記入して、責任教師は球場入りしたときに大会本部に提出すること。検温の結果、体温が37,5度以上の者は、来場しないこと。また、発熱・咳・倦怠感がある者も同様とする。
- ・試合日のチームの責任教師・監督・部員（球場入りする者）は、球場入場時に検温すること。また、マスクを着用すること。
- ・次試合チームの控え場所は、大会本部が指定するスタンドの一部とする。
- ・次試合チームは、前試合チームがベンチから退き、ベンチ内の消毒作業が済んでからベンチ入りすること。
- ・試合開始・終了時の挨拶は発声をしない。主審の声に合わせて礼をするのみとする。
- ・試合中、円陣やハイタッチ・握手などは避けること。また、マウンド上に集合するときは、グラブを口に当てることとする。伝令も同様とする。ベンチ内ではマスクを着用しても良い。
- ・ベンチ内の入口ドアは常時開放するとともに、ベンチ内で密状態にならないよう注意する。
- ・水分補給を行う際は、各自のペットボトルなどを用意して、飲み回しなどの行為を行わないこと。
- ・試合後、取材を受ける際は大会本部が指定した場所にて、密にならないように注意すること。
- ・バスなどで移動する際は、窓を開けるなど換気を良くすること。

2) 応援について

- ・スタンドに入場出来るのは、野球部員の他、引率顧問（学校関係者含む）・事前に許可された保護者とする。
- ・着席は2m以上間隔を空けること。
- ・大声を出しての応援をしないこと。拍手での応援を基本とすること。
- ・メガホン、音の鳴る道具など応援に関する道具は持ち込まないこと。

3) その他詳細な点については、大会本部の指示に従うこと。

4) 「長野県高等学校野球連盟内規」の競技上の注意等について、事前に内容の理解を深めておくこと。